

注文書自動作成を起点に、社内業務のAI代替へ

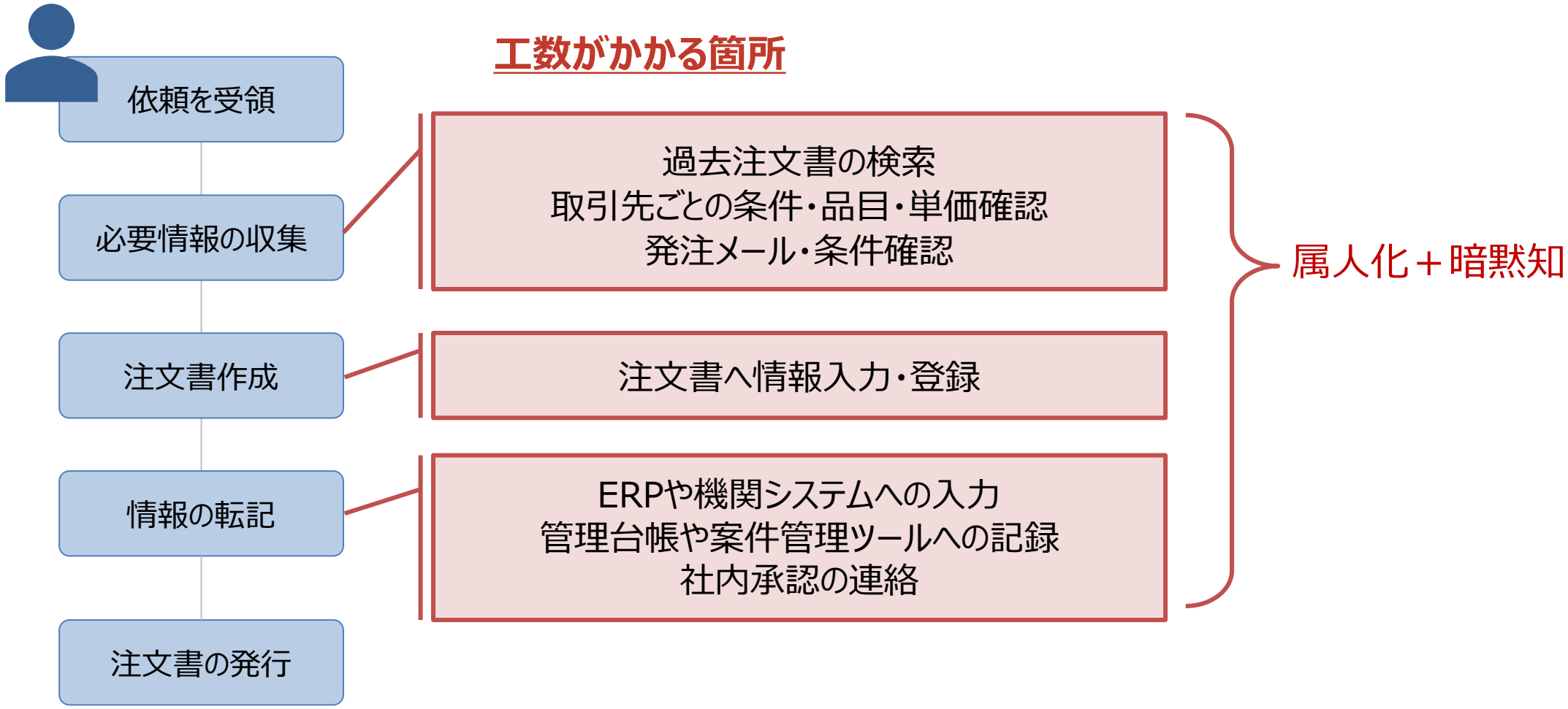
構想で終わらせず、着実にAIに業務を置き換えていくために



株式会社エアー

状況の整理｜注文書作成の現状

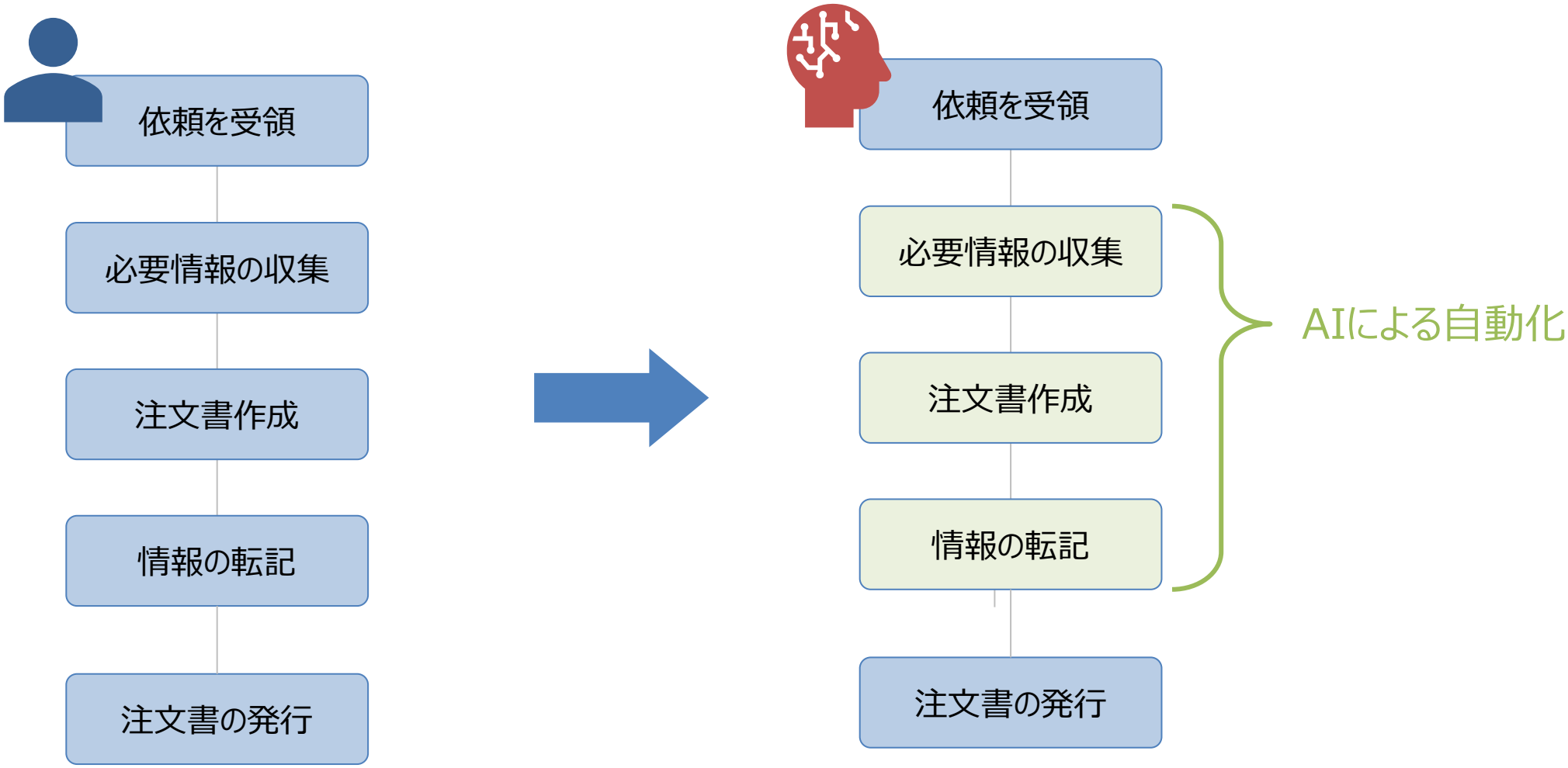
注文書は記載項目が多く、手作業での入力が多く残るため、作成に大きな工数がかかってしまいます。



© 2026 AIR Co.,Ltd.

AIエージェントによる暗黙知の可視化と業務代替

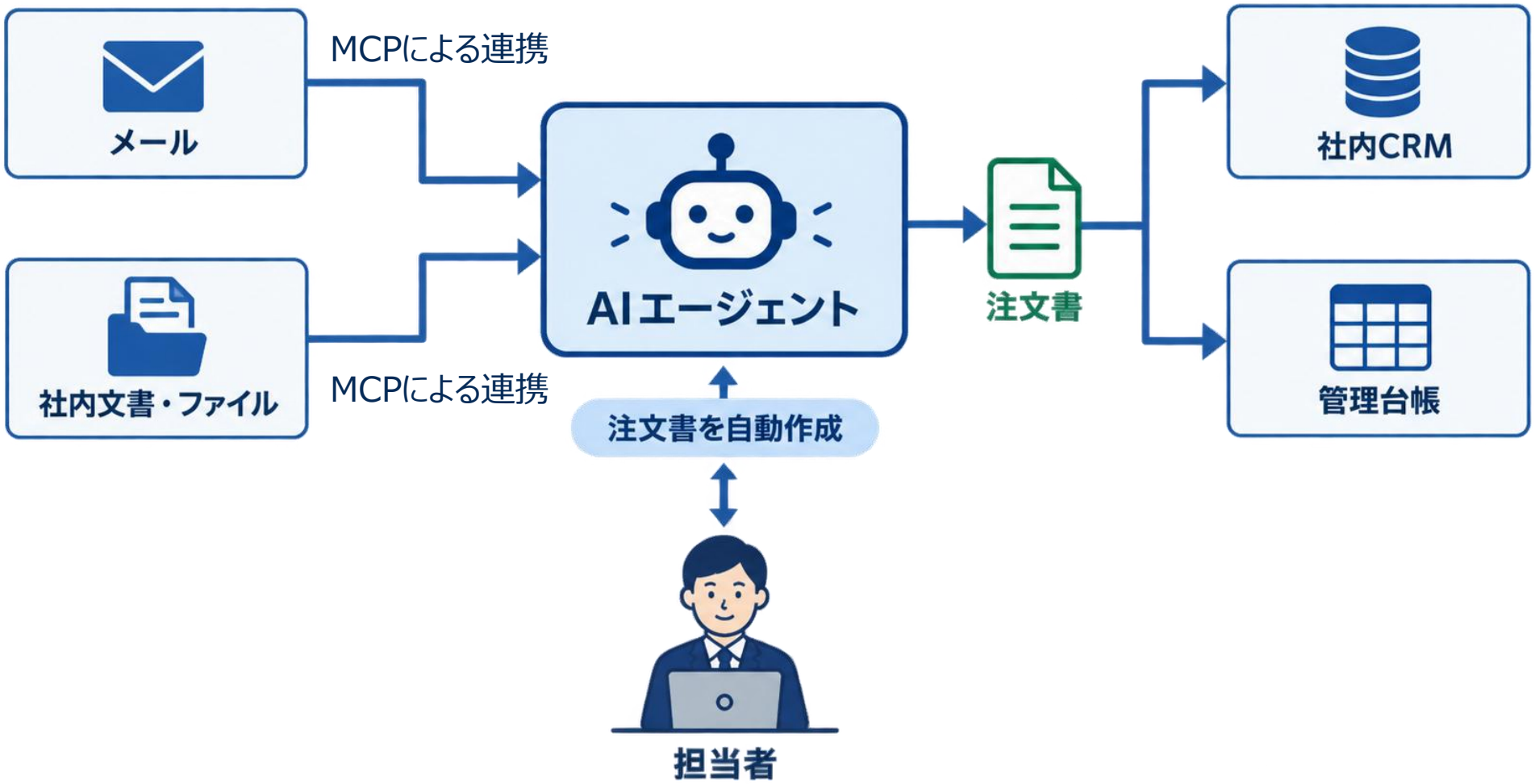
依頼受付後の情報収集や注文書作成、各システムへの転記は、担当者の経験や判断に依存しています。
これらの業務手順をAIエージェントに持たせ、自動化することが本提案の出発点です。



© 2026 AIR Co.,Ltd.

AIエージェントによる暗黙知の可視化と業務代替

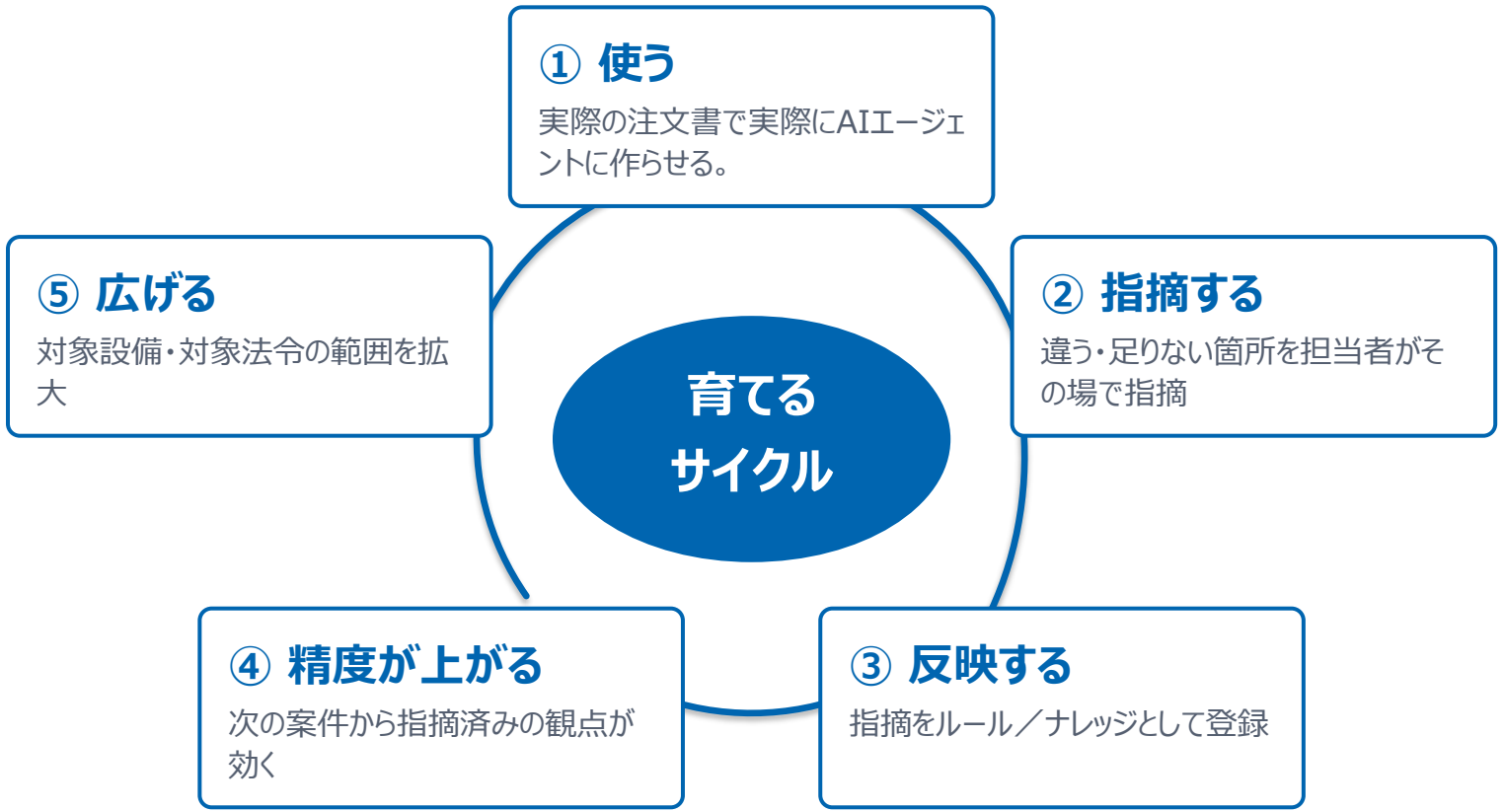
社内のさまざまなリソースとシームレスに連携し、高い効果を発揮するAIエージェントの構築に必要なプラットフォームと開発力をご提供します。



© 2026 AIR Co.,Ltd.

AIエージェントは「一緒に育てていく」もの

導入時点で完璧な精度は出ません。使いながら指摘し、その指摘をルールとナレッジに反映していく――
この循環を回せる仕組みであることが、この業務では最も重要です。



育てる前提で設計する

現場が直せる
指摘・修正を情シス経由にせず、
業務部門が登録できる形にする

何を直したか残る
ルールの追加・変更を版管理し、
いつ誰が育てたかを追える

効果が見える
指摘件数の減少・所要時間の短縮を
定点観測して改善を実感できる

© 2026 AIR Co.,Ltd.

何を育てるのか｜注文書作成を3つの層に分けて蓄積する

「AIを育てる」を曖昧にしないため、注文書作成で育てる対象を3層に分けます。層ごとに担当と更新のタイミングが変わります。

知識層
参照する情報そのもの

- 見積書・仕様書・過去の注文書
- 取引先マスタ・単価表・契約条件
- 品目コード・納期・支払条件の実績

更新：単価改定・取引条件変更のタイミング

ルール層
注文書に必要な記載の定義

- 取引先・品目ごとの必須記載項目
- 適用条件（数量・金額・納期・通貨など）
- 必須入力 / 任意入力の区分

更新：現場からの指摘が出たその都度

判断の型層
AIの答え方・進め方

- 見積書など入力元の該当箇所を必ず示す
- 判断できない場合は「要確認」を返す
- 出力フォーマット（注文書様式・明細行）

更新：運用レビュー時（月次など）

© 2026 AIR Co.,Ltd.

導入ステップ｜注文書作成を小さく始めて、育てながら広げる

最初から全取引先・全品目を対象にせず、対象を絞って「育つこと」を確かめてから広げます。
最終的には業務実行の幅を広げ、全社的な効果を段階的に拡大していきます。

STEP 1
PoV｜価値の確認

- 対象を1取引先・数件の過去注文に限定
- 既存の注文書とAIの出力を突き合わせ
- どこまで任せられるかの線引きを確認
- 育てる運用が回るかを実地で確認

ねらい：使える手応えと課題の見極め

STEP 2
業務適用｜現場で使う

- 対象取引先・対象品目を拡大
- 注文書様式・明細の出力を実務仕様に
- 指摘をルールへ登録する運用を定着
- 承認・権限・ログの運用ルール整備

ねらい：日常業務としての定着

STEP 3
定着・拡張｜横展開

- 他拠点・他部門の購買へ展開
- 関連業務（見積依頼・納期管理）へ拡張
- 蓄積したナレッジを教育・引継ぎに活用
- 効果測定と継続的な改善サイクル

ねらい：全社の注文書作成の標準化

© 2026 AIR Co.,Ltd.

効果の見方｜注文書作成で何をもって「効果がある」と判断するか

感覚ではなく、定量的に計測し、経営層に説得力を持って効果を提示できます。

注文書1件の作成時間

見積・仕様を確認し、注文書を仕上げるまでの所要時間

▶ 現状値との比較

記載ミス・修正の件数

承認時や取引先から後で指摘された件数

▶ 減少をねらう

承認の差し戻し回数

上長・購買部門への確認・差し戻しの回数

▶ 減少をねらう

担当者による差

同じ取引条件での記載内容のばらつき

▶ 標準化の度合い

AIへの指摘件数の推移

「違う・足りない」と指摘された件数の変化

▶ 育っている証拠

ナレッジの再利用率

登録したルールが実際の注文書で使われた割合

▶ 資産化の度合い

© 2026 AIR Co.,Ltd.

今後の見通し

他社での支援実績を踏まえ、注文書作成以外にもご提案できる領域が多くございますので、
ぜひほかのご要望や課題についてもお聞かせください。

1	**対象業務のヒアリング**	対象設備・確認の流れ・関わる部門・ 現在お使いの文書の置き場所を伺います	**60分程度**
2	**プロトタイプ検証**	過去の注文書をお借りし、AIの出力結果を 突き合わせてご覧いただきます	**初回デモ**
3	**PoV計画のご提示**	対象範囲・進め方・体制・評価指標を 具体化してご提案します	**デモ結果・改善案 を踏まえて**

AIエージェントは、導入して終わりではなく、お客様と一緒に育てていくものです。

© 2026 AIR Co.,Ltd.

AIで業務を "完了" させる時代へ

AIR-NEXUS が、企業の "業務OS" になる

AIR-NEXUS お問い合わせ・資料請求

サービスページ：https://air.co.jp/anx/

株式会社エアー

AIR COMPANY LIMITED







© 2026 AIR Co.,Ltd.